

認知症の 早期診断、 早期対応のために



☆認知症初期集中支援チームを活用してください。

この事業は、委託医療機関である吉川記念病院の医師、看護師、精神保健福祉士、介護福祉士、臨床心理士等と町の地域包括支援センター職員を構成員とするチームを設置し、チーム員による訪問や会議、継続的なサポートを行うことで、認知症になっても、『早期診断・早期対応』することにより、住み慣れた地域で、できるだけ長くその人らしく生活できるよう、ご本人やご家族への支援を行うものです。

認知症は早期発見・早期対応が非常に重要です。認知症のご家族の対応に困っている場合は、ぜひ気軽に地域包括支援センターにご連絡ください。

対象となる方

- 現在、医療・介護サービスを受けていない、または医療・介護サービスを中断している 40 歳以上の方で、在宅で生活している認知症が疑われる方
- 医療・介護サービスを受けていても、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯で介護者も認知症が心配になった等で対応に困っているご家族や関係者

内容

①ご自宅への訪問（初回訪問）

町の地域包括センターから連絡をうけたチーム員 2 名がご連絡の上ご自宅を訪問し、ご本人やご家族から認知症の病状や症状、困っていることなどについてお話をお聞きします。認知症や介護についてのお話をさせていただくこともあります。

②支援方針に沿ったサポート（継続訪問）

初回の訪問の結果をもとにチーム員会議で支援方針を決定し、その支援方針に沿ってその方の症状やご家族の状況にあった継続的な支援を行います。具体的には、毎日の介護方法や対応についての助言、必要に応じた医療機関の受診や介護保険サービス利用の支援等を行います。